

みんなで取り組む防災・減災

ねっちゃんの防災知恵袋

▼台風の季節に備えてハザードマップを再確認



こんにちは、ねっちゃんです。
暖かくなると同時に台風の季節が近づいてきます。

◆昨年の台風の特徴

・変な動きをした台風

左の図は、昨年の台風10号の進路を示したものです。一度、太平洋へ南下した後、北上し再上陸しました。速度が遅く、進路も定まらず影響が長引き、遠く離れた地域でも大雨が発生しました。



出典:気象庁HP

・同時期に台風が4つ発生

昨年11月には、東南アジアの海

上で4つの台風が同時発生中となった期間がありました。11月に4つ同時というのは統計史上初めてだったようです。

地球環境の変化に伴い、台風の発生ペースや進路までもが徐々に変わってきているように思います。全国各地で発生する大雨災害は確実に多発化・激甚化しています。

◆自分と家族の命を守るために

台風で心配されるのが、低気圧や強風による高潮と大雨による河川浸水です。水害の発生に備えてハザードマップで危険なところや避難ルートを再確認しておきましょう。



市HP▶

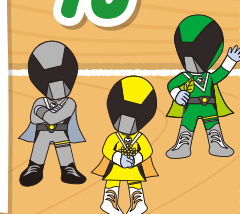
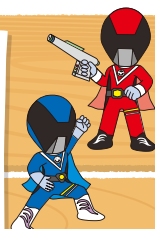


▼防災対策課

☎23 354 8

環境戦隊たはらエコレンジャー

環境けいじばん



堆肥散布による悪臭などの発生防止にご協力を！

これから夏場にかけて、農地への堆肥散布の時期を迎えます。昨年は、近隣の住民などから悪臭などに関する苦情が多く寄せられました。堆肥を使用する際には次の点に注意し、生活環境の保全と水質汚濁・悪臭などの防止にご協力ください。



●完熟堆肥の使用

十分発酵させた悪臭を伴わない完熟堆肥を使用する。

●散布後の鋤き込み

雨天により散布後の鋤き込みがすぐにできないことのないよう、天候に注意する。

●生活環境への配慮

住居や観光施設に近い農地に散布する場合は、生活環境に十分配慮し、悪臭、害虫、粉じんや汚水

が発生しないようにする。

●過剰な堆肥散布をしない

地下水汚染の原因にもなるため、過剰な堆肥散布はやめる。

畑や畜産場の適正管理に努めましょう！

近年、堆肥や畜産場が原因となる、悪臭や水質汚染の苦情が多数寄せられています。堆肥を鋤き込まずに放置すると、雨風によつて河川に流れ込み、河川や海が汚れる要因の一つになります。また、堆肥の一部が河川に堆積し、悪臭を放ちます。

畜産業者の方は、設備(浄化槽)のこまめな点検を行い、場内を清潔に保ち、汚水や処理が不十分な排水が河川や海に流出しないようご協力をお願いします。

田原市の豊かな環境を守りましょう。

▼環境政策課

☎23 354 1